

プロレスバー店内での無料Wi-Fi提供が、来店者のSNS投稿を促進。ファンによる情報発信がプロレス業界の活気づけに一役。

スポルティーバ・アリーナ 様

名古屋市鶴舞のプロレスバー「スポルティーバ・アリーナ」では、イベント開催時には最大100名ほどになる来店客への無料Wi-Fi提供を検討。パフファローの「FREESPOT導入キット FS-600DHP」、トライバンド無線LANアクセスポイント「WAPM-2133TR」、VPNルーター「VR-S1000」などの機器で、多人数が同時にSNSを利用しても切れない、安定した無料Wi-Fiの提供を実現。来店客のSNS利用を通じて、店舗やプロレスイベントの情報発信に役立っています。



プロレスバー「スポルティーバ・アリーナ」

プロレス観戦が楽しめるリング常設 スポーツバーがWi-Fi提供を検討

JR中央線鶴舞駅そばの『鶴舞高架下』と呼ばれる界隈に店舗を構えるプロレスバー「スポルティーバ・アリーナ」。店の常設リングではプロのレスラーたちによる試合が実施されプロレスを観戦しながら飲食が楽しめるユニークなお店です。

プロレス開催日には、試合を懸命に撮影する「ブ女子」と呼ばれる女性プロレスファンが多数。彼女たちの多くはたくさんの写真をその場でSNSにアップしています。日頃の様子をみている同店オーナーの株式会社スポルティーバエンターテイメント会長 斉藤 涼氏（以下、斉藤氏）は、彼女たちに負担なく思う存分写真のアップをしてもらえるようにWi-Fiの提供を検討していました。

スタッフ用に用意していた家庭用Wi-FiルーターによるWi-Fiネットワークがあるのでそれを来店者に提供しようかとも考えたそうですが、イベントによっては100人以上の集客があるため業務に支障がでると判断し提供を断念。また、不特定多数の人に提供するからこそ、セキュリティ面でも安心できるものを探していました。

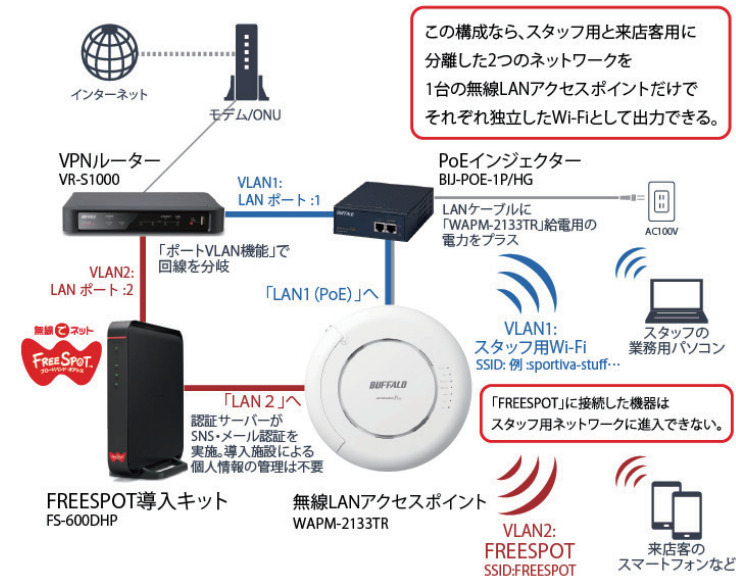
スタッフ用ネットワークと無料Wi-Fi
が共存できる「FREESPOT」を選択

そこで、セキュリティ面で安心な「FREESpot」と、高速Wi-Fi規格「11ac」に対応し、多人数が同時に利用しても安定した通信を提供する「公平通信制御機能」を搭載した無線LANアクセスポイント「WAPM-2133TR」の組み合わせを選択。また、ス



リングは客席フロアのすぐ目の前に。遠方からも多くのファンが訪れる。

ルーターのSSID・パスワードを設定し、スタッフ用
端末のWi-Fi設定を変更する必要があるように工
夫しました。「WAPM-2133TR」の給電にPoEイン
ジェクターを使ったことで、配線はとても簡単だ
ったと斉藤氏は話します。



「スポルティーバ・アリーナ」の機器構成

導入製品



FREESPOT導入キット
FS-600DHP



11ac/n/a&11n/g/b対応
無線LANアクセスポイント
トライバンドモデル
WAPM-2133TB



IPsec対応
VPNルーター
VR-S1000



IEEE802.3at
PoEインジェクター
BUJ-POE-1P/HG

